

第1回ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)制度

中間評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成27年2月3日(火) 10時～12時

2. 場 所 経済産業省別館6階628会議室

3. 出席者

(評価検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

※伊関 洋	早稲田大学理工学術院 先進理工学研究科 教授
上田 太郎	独立行政法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門
貝原 麻美	独立行政法人理化学研究所 経営企画部 戦略分析課
曾我 恒彦	第一三共株式会社研究開発本部研究統括部 参事
手柴 貞夫	協和発酵キリン株式会社 社友 中央大学理工学部生命科学科 兼任講師
林 隆之	独立行政法人大学評価・学位授与機構 研究開発部 准教授

(事務局)

経済産業省産業技術環境局国際室

室長	武藤 寿彦
課長補佐	青山 太郎
企画調整係長	山本 晃平

(評価推進課)

産業技術環境局産業技術政策課技術評価室

技術評価一係長 加藤 二子

(調査実施機関)

(株)三菱化学テクノロジーサーチ調査コンサルティング部門

主幹研究員	良峰 景子
首席研究員	田川 徹
客員研究員	福本 淳子

4. 配布資料

- 資料 1 ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP) 制度中間
評価検討会委員名簿
- 資料 2 研究開発評価に係る委員会等の公開について
- 資料 3 経済産業省における研究開発評価について
- 資料 4 評価方法 (案)
- 資料 5 ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP)
制度の概要
- 資料 6 評価用資料
- 資料 7 アンケート調査結果の概要
- 資料 8 本研究開発制度に係る調査結果
- 資料 9 評価報告書の構成 (案)
- 資料 10 評価コメント票
- 質問票
- 参考資料 1 経済産業省技術評価指針
- 参考資料 2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準
- 参考資料 3 ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP)
制度評価中間報告書 (平成 23 年)

5. 議事概要

(1) 座長選出

委員の互選によって、伊関洋委員が本検討会の座長に選出された。

(2) 評価検討会の公開について

事務局から、資料 2 により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

事務局から、資料 3、4、9、10 により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

主な質疑等は以下のとおり。

- 委員より経産省の制度評価に関して質問があり、今回の評価結果は来年度以降の予算等の資源配分に反映されると事務局から回答があった。さらに文科省の制度評価との統合に関しても質問があり、事務局から、上位の政策評価の方向性が違うので現時点では統合の予定はないが、制度そのものにおける文科省との連携はなされているとの回答が示された。

(4) 研究開発制度の概要について

調査会社から、資料5、6、7、8、10により、研究開発制度の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- 委員より日本人の応募減少の問題及び応募増加策について質問があり、事務局から、事務局による広報活動を引き続き行っていくように働きかけるとの回答があった。
- 委員より、本制度は他のプログラムよりは応募しやすく、日本人の若手研究者にとって研究を推進する貴重なプログラムとなっており、引き続き行って欲しいとの意見があった。また、国際的なプログラムに日本人が参加できるこの制度を維持することは、将来的な国益に繋がるとの意見があった。
- 委員より、本制度を利用して得られた成果の実用化、産業化には、本省の関係部署やNEDO等の支援も必要ではないかとの意見があった。
- 委員より、本制度の基礎研究から実用化に到達するまでのロードマップをどのように想定しているかとの質問があり、事務局より基礎研究から政府による応用研究及び実用化に向けた支援等を行って事業化することを想定しているとの回答があった。

(5) 今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成27年2月17日とすることを確認した。また、第2回評価検討会を平成27年3月2日10時から開催することとした。

以上